

「釧路湿原自然再生協議会」

第17回 再生普及小委員会

平成23年 6月 7日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

釧路湿原自然再生協議会

第17回 再生普及小委員会

日時：平成23年6月7日（火）14:00～16:00

場所：釧路地方合同庁舎5階 共用第一会議室

----- 議 事 次 第 -----

- 1, 開会
- 2, 議題
 - 1) 再生普及行動計画ワーキンググループ経過報告
 - 2) 環境教育ワーキンググループ経過報告
 - 3) 5年目の施策の点検について
 - 4) その他
- 3, 閉会

----- 配 布 資 料 -----

- ・ 議事次第
- ・ 第17回再生普及小委員会 出席者名簿
- ・ 再生普及小委員会 委員名簿
- ・ 第17回再生普及小委員会資料
- ・ 第16回再生普及小委員会ニュースレター
- ・ 意見・要望アンケート用紙

「釧路湿原自然再生協議会」

第 17 回 再生普及小委員会

資 料

平成23年6月7日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

目 次

○ 資料 1 ワンダグリンド・プロジェクト 2010 活動報告(一覧)	1
○ 資料 2 ワンダグリンド・プロジェクト 2010 報告書作成概要	5
○ 資料 3 2010 年度再生普及行動計画 WG の取組み報告	7
○ 資料 4 ワンダグリンド・プロジェクト 2011 応募状況(一覧)	9
○ 資料 5 2011 年度再生普及行動計画 WG の予定(案)	11
○ 資料 6 第 20 回再生普及行動計画WGでの議論の結果概要 情報発信(広報)の機会拡充についての検討	13
○ 資料 7 2010 年度環境教育 WG の取組み報告	15
○ 資料 8 環境教育ワーキンググループの 2001 年度の活動について	19
○ 資料 9 再生普及小委員会の予定(案)	21

「ワンダグリダ・プロジェクト2010」 活動報告（一覧）

資料 1

※ 2010年度からの新規参加は、団体・個人名の欄に「★」で表しています。

団体・個人名	取組み概要	No
★ アトリエ「アリス」	釧路湿原などの自然を含む釧路地域の素晴らしさを描くことによってアピールする	1
	釧路に自生する植物を使ったアート作品の製作と発表	2
	釧路川周辺の清掃活動を実施します	3
伊勢志郎	来訪者の釧路湿原国立公園来園記念に、折鶴を関連施設に提供します	4
岩間喜美子(自然ガイド)	釧路湿原の中をガイドいたします	5
(株)FMくしろ	釧路湿原の植物や生物、歴史について紹介する「ゆうゆう釧路湿原塾」を放送します	5
(株)日専連釧路	「日専連釧路フィッシャーマンズカード」利用額の一部を釧路湿原国立公園連絡協議会に寄付します	6
NPO法人釧路湿原やちの会	釧路湿原道路の清掃活動を実施します	7
	温根内ビジターセンター駐車場の清掃活動を行います	8
	修学旅行・一般観光客(団体・個人)・企業の研修旅行等を受入れます	9
NPO法人タンチョウ保護研究グループ	タンチョウの保護、研究に関するHPでの情報発信、教育普及活動、タンチョウ総数カウント調査を行います	10
NPO法人トラストサルン釧路	トラスト地におけるボランティア作業の受入れを行います	11
NPO法人北海道フィッシャーズ協会	ゴミ清掃を中心とした環境保全活動を実施します	12
Rainbow Angel (ペンネーム)	釧路湿原の魅力をテーマとしたブログ発信をします	13
お菓子司 二幸	「湿原まんじゅう」を通じて、釧路湿原の成り立ちや歴史について伝えます	14
小川幸子	湿原をイメージした紙粘土人形の作成	15
賀勢朗子	北海道の動物折り紙の展示	15
川口 秀人	湿原の動植物や風景の写真をカレンダーにして職場に展示します	16
環境コンサルタント株式会社	達古武湖面をカヌーで清掃します	17
	湿原流域で体験型環境学習会を開催します	18
環境省釧路自然環境事務所	自然再生事業を行っている達古武地区にて、市民体験調査会を行います	19
	釧路湿原ラムサール条約登録30周年を記念して、流域市町村で自然体験イベントを実施します	20
喜多島 麻鈴	コンサートを通じて、釧路湿原をPRします	21
★ 釧路ウォーターアートプロジェクト	市民参加型の環境アートで水の大切さを発信します	22
釧路国際ウェットランドセンター	釧路湿原ラムサール条約指定30周年を記念する「集い」を開催します	23
	湿地保全やワイズユースに関するJICA研修を実施します	24
	釧路川蛇行復元現場周辺の環境調査を、地域の人々と一緒に行います	25
	ホームページ、ニュースレター等による釧路湿原の情報発信をします(英語・日本語)	26
	世界湿地の日(2月2日)記念し、湿地を訪ねる「冬のエコツアー2011」を開催します	27

団体・個人名	取組み概要	No
釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	クリーンウォークを実施します	28
	ウチダザリガニ駆除調査を実施します	29
	温根内木道定点解説を実施します	30
釧路湿原国立公園連絡協議会	「釧路湿原こどもレンジャー」事業を実施します	31
	湿原に関する情報を毎月紙面で発行します	32
	温根内ビジターセンターと塘路エコミュージアムセンターで行われるプログラムの情報共有と施設間の連携を図ります	33
	ホームページによる釧路湿原の情報を発信します	34
釧路湿原全国車いすマラソン大会実行委員会	第25回釧路湿原全国車いすマラソン大会を実施します	35
釧路湿原MTBクラブ	釧路湿原周辺の丘陵地を主なフィールドとして廃道や林道でのツーリングを行います	36
釧路湿原マラソン実行委員会	第37回釧路湿原マラソン大会の実施	37
釧路シャケの会	シャケの稚魚の里親募集と放流式を実施します	38
釧路短期大学	湿原をとりまく地域食材を使用した、学生考案の「咲くさクッキー」を釧路全日空ホテルと連携して販売し、湿原自然再生に還元します(諸活動と収益の一部寄附)	39
釧路プリンスホテル	宮島岬を中心に、自然ガイドとともに周辺の自然や歴史を体験・学習するツアーを実施します	40
釧路ボタニカルアートの会	地元の植物やその周辺の環境を観察し学び、希少な植物の姿を細密画として描き、作品を環境保護活動に役立てます	41
国土交通省北海道開発局釧路開発建設部	「くしろ環境スクール」終了生による「釧路自然再生解説員」活動と学習会を行います	42
	「釧路湿原川レンジャー」を募集し活動を行います	43
(財)釧路市民文化振興財団	「湿原 ほたる講座」を開催します	44
	いきいき女性講「キラコタン岬から釧路湿原を眺めてみよう」を開催します	45
	「まなぼつと子ども体験隊」で「キラコタン岬に行こう」を開催します	46
	「まなぼつと子ども体験隊」で達古武の森と動物を調べます	47
	釧路学教養講座「釧路地方の自然と歴史③「キラコタン岬」」を開催します	48
★ こどもエコクラブくしろ	釧路湿原におけるマルハナバチの観察調査を実施します	49
(財)日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ	施設来訪者へのタンチョウの解説・ミニスライドショーを実施します	50
	ボランティア・ワークキャンプの受け入れを行います	51
	タンチョウティーチャーズガイド講習会を実施します	52
	ボランティア・ツアーを実施します	53
奈良県 笹本由文	私有山林に自然林育成と環境保全を努めます。	54
さとぼん	ホームページによる釧路湿原の魅力や歩き方に関する情報発信	55
沢田建設株式会社	釧路湿原近郊でゴミ拾いを行います	56
	ウチダザリガニ防除活動を行います	57
シルバーシティときわ台ヒルズ	自然再生について学ぶ「自然再生」文化講座を開催します	58
太平洋総合コンサルタント株式会社	体験型の環境教育の実施	59
市立釧路図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター	釧路湿原に関する情報提供及び展示を通じた湿原の紹介	60

団体・個人名	取組み概要	No
タクバパ(ペンネーム)	道東の自然や地名をアイヌ語で紹介します	61
ボーイスカウト北海道連盟 釧路第6団カブ隊	自然観察や体験活動などを実施します	62
北海道阿寒高等学校	1学年「地域巡検」として釧路湿原を学びます	63
★ 北海道標茶高校	第11回全国高校生自然環境サミットin標茶を開催します	64
ボランティアネットワークチャレンジ隊	釧路湿原“音”探検を開催します	
宮永 真智子	オカリナ演奏で協力します	65
無国籍雑貨 島屋	釧路湿原に生息する希少な生物をモチーフに、アイヌ文様の伝統的パターンを使いデザインしたグッズを作成・販売します(打ち上げの一部は寄付することも検討)	66
リンク・リング	野生生物へのエサやりの是非の説明をして、人と動物・自然のかかわりについて考える機会を持ってもらいます。	67
林野庁北海道森林管理局釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター	「雷別ドングリ倶楽部」の実施	68
	みんなで森林づくり「ボランティアによる植樹」の実施	69
	「森林ボランティア養成講座」の実施	70
	「お庭で苗木育成制度」の実施	71

44団体／71 取組み(応募時47団体・個人／74取組み)

(2009年度は42団体・個人／67取組み)

釧路湿原自然再生協議会	釧路湿原自然再生協議会や各委員会の情報を発信します(会議公開、HP、ニュースレター発行)	1
	学習会や講演会などを行います	2
	パネル展などを実施します	3
	視察・研修などを受入れます	4
	自然再生に関わる資料を発刊します	5

45団体・個人／76取組み(協議会含む)

「ワンダグリンダ・プロジェクト 2010」報告書作成概要

■ 報告書作成のねらい

- 釧路湿原自然再生普及行動計画(以下、「再生普及行動計画」と略)の2010年度具体的取組みの状況を記録する。
- 再生普及行動計画の活動状況を、圏域内外に広く発信し、釧路湿原の保全・再生に向けた多様な活動や参加の機会を多くの人に知ってもらう。
- 新たな取組みを呼びかけ、誘発していくための材料とする。

■ 作成方針

- 再生普及行動計画や具体的取組みが何であるのか分かりやすく説明する。
- 具体的取組みの実施者作成の報告書を基本とし、個々の取組みを統一した書式で編集する。
- 関係者のみならず、さまざまな立場の人に手にとっていただけるよう、デザイン・装丁等に配慮する。
- 印刷物としての配布だけではなく、再生普及行動計画WG通信等のウェブサイトでも公開する。

■ 仕様

- 装丁 / A4判、カラー表紙、本文モノクロ印刷、約100ページ
- 印刷部数 / 1200部
- 発行者 / 釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会
- 発行日 / 2011年 6月上旬(6月4,5日くしろエコ・フェア2011にてお披露目)

■ 配布に関して

- 釧路湿原自然再生協議会構成員・事務局機関
 - 公共施設、機関 / 釧路管内教育機関(小・中・高・大・専・養護)
 - WG事務局より随時配布(郵送希望者は、切手つき返信用封筒を事務局宛に郵送→配布)
 - 釧路市市民活動センターわっとにて希望者に配布
 - くしろエコ・フェア2011等各イベント
 - WG構成メンバーの活動の中で配布(機会や部数等を事務局にご連絡ください)
- この他、「再生普及行動計画ワーキンググループ通信」WEBサイトで公開する

■ 構成・目次

はじめに

- 発行者代表(再生普及小委員会委員長)名で挨拶文を記載
- 1 ワンダグリンダ・プロジェクトとは
 - 釧路湿原自然再生事業の趣旨、協議会、進行管理の仕組み等の概略を記述
 - 釧路湿原自然再生事業の概略地図の掲載
 - 再生普及行動計画作成の趣旨、経緯、進行管理の仕組み等の概略を記述
 - 再生普及行動計画の3つの柱をパンフレット記載レベルで記述
- 2 2010年度具体的取組み(ワンダグリンダ・プロジェクト2010)の経緯
 - 募集からとりまとめの経緯を記述
- 3 2010年度具体的取組み(ワンダグリンダ・プロジェクト2010)取組み一覧
 - 再生普及行動計画のねらい別取組み一覧表を掲載
- 4 2010年度具体的取組み(ワンダグリンダ・プロジェクト2010)の報告
 - 各実施者作成の報告を、統一した書式(2009報告書参照)により編集
 - 各団体の連絡先は個票には記載せず、冒頭に問い合わせ先として事務局を冒頭に記載

参 考

- 協議会の構成と再生普及小委員会名簿、再生普及行動計画WG名簿を記載
 - 索引(団体・個人別取組み一覧とそのページナンバー)
 - ワンダグリンダ・プロジェクト6年間の応募状況の推移(応募団体数、取組み数のグラフ)
 - ワンダグリンダ・プロジェクト宣伝の様子を紹介するページ(2009報告書参照)
- * 2010年度から行動計画の第2期に入ったことから、表紙デザインを一新する
(* 2011年度の取組み報告には各取組みの活動場所を簡略に記載する)

2010 年度再生普及行動計画 WG の取組み報告

■ フィールドワークショップの実施

○ 第 5 回「体感！旧川復元蛇行現場～陸と川から～」

日時:2010 年 8 月 29 日

案内人:新庄久志座長

参加者:15 名

協力:釧路開発建設部、レイクサイドとうろ。

内容:自然再生事業実施現場(茅沼地区旧川復元事業地)をカヌーで漕行しながら見学した

○ 第 6 回「湿原と人の暮らしの境界 3～凍った湿原をゆく～」

日時:2011 年 2 月 6 日

案内人:新庄久志座長

参加者:17 名

協力:釧路開発建設部

内容:湿原再生予定地(幌呂地区)の見学、湿原の遷移とバッファゾーンの見学、
散策(旧幌呂川まで)

アンケートより:湿原再生事業に対する反応、考え方(一般の方の捉え方など)を確認できました。／湿原の植生再生サイクル、地下水との関連性を学びました。／湿原を再生していく上で大切な事、その取組みが順を追ってわかりました。／解説を行う時、現場を見た情報を他の人に伝えることができます。／特に農地から現場に移行していく中でのステージごとの違いを伝えることができると思います。／再生事業でのポイントを説明することにも役立つと思います。湿原の中に入る体験ができ、また植生の違いなど実際に説明を受け見ることができとても良かった。／「湿原と人間の接点」を振り返るという企画に賛成です。湿原の中にあるそんな地点をもっと訪れてみたいと思いました。

■ ワンダグリнда・プロジェクト推進サポーター

2009度から開始したワンダグリнда・プロジェクト推進サポーターは、2011年4月現在36箇所となり、『ワンダグリнда☆ニュース』をはじめ再生事業ポスター掲示やパンフレット配布など各種資料配布に協力をいただいている。

■ 情報発信の拡充

- メールニュース『ワンダグリнда☆ニュース』の配信: 釧路湿原流域の講座やセミナー、イベント情報、「タクパさんのちょっぴりアイヌ語講座」等の内容で、毎月2回程度(2010年度は計37回)配信した。現在の配信先は325ヶ所(昨年比約40件増)。
- 市町村広報誌への情報提供: 毎月釧路湿原国立公園連絡協議会の協力により、毎月関係市町村に情報を配信した。(掲載については各市町村の判断により、釧路市は毎月掲載)また、標茶町、釧路町の協力により「広報しべちや」、「広報釧路町」の7～10月号にて釧路湿原、自然再生事業の紹介を行った。
- ホームページ更新: 毎月2回程度実施した。

自然再生事業の「今」を紹介するサイトの開設: 自然再生事業の現場の動き等をリアルタイムで紹介するために、:「ブログ「森林再生の今!」」を開設し、週1回程度の更新を行った。また、雷別地区、達古武地区における森林再生事業を紹介するページを作成、公開した。



■ パネル出展の実施

2010年6月5日～6日 くしろエコ・フェア2010(釧路市こども遊学館)

7月23日～26日 パネル展「空から見た釧路湿原」(イトーヨーカドー釧路店)

9月12日 標茶町産業まつり(標茶町釧路川河川敷特設会場)

9月23日 環がまち釧路フェスタ(釧路国際交流センター)

11月7日～8日 まなトピア2010(釧路市生涯学習センター)

12月19日 釧路湿原ラムサール条約登録30周年記念事業「湿原たからばこ」
(釧路市民文化会館)

2011年2月16日～25日 釧路町役場(確定申告時)(釧路町役場)

「ワンダグリンダ・プロジェクト2011」 応募状況（一覧）

資料 4

※ 新規参加は、団体・個人名の欄に「★」で表しています。

2011年6月現在

団体・個人名	取組み概要		No
アトリエ「アリス」	釧路湿原などの自然を含む釧路地域の素晴らしさを描くことによってアピールする	通年	1
	釧路に自生する植物を使ったアート作品の製作と発表	通年	2
	釧路川周辺の清掃活動を実施します	随時	3
伊勢志郎	来訪者の釧路湿原国立公園来園記念に、折鶴を関連施設に提供します	通年	4
(株)FMくしろ	釧路短期大学の西英一教授をお迎えし、釧路湿原の四季折々の話題をラジオで発信します	通年	5
オカリナ演奏 宮永真智子	オカリナ演奏で協力し釧路湿原に興味を持っていただきます	随時	6
お菓子司 二幸	「湿原まんじゅう」を販売します。	通年	7
賀勢朗子(かせいじん)	釧路湿原に生息する動物折り紙の展示及び折り紙教室	随時	8
★ カヌープロマルチ工房	カヌーを通じ自然の素晴らしさや釧路湿原の大切さをつたえます	5月～10月	9
川口 秀人	湿原の動植物や風景の写真をカレンダーやポスターにして職場などに掲示します。	通年	10
環境コンサルタント株式会社	達古武湖面をカヌーで清掃します	7～8月	11
	湿原流域で体験型環境学習会を開催します	8～11月	12
環境省釧路自然環境事務所	自然再生事業を行っている達古武地区にて、市民体験調査会を行います	年3回	13
喜多島 麻鈴	コンサートを通じて、釧路湿原をPRしていきます	随時	14
釧路ウォーターアートプロジェクト	市民参加型の環境アートで水の大切さを発信します	随時	15
釧路国際ウエットランドセンター	湿地・生物多様性に係わる途上国の行政官等を対象とした、湿地保全やワイズユースに関する研修を実施します	6-7、8-10月2回	16
	釧路川蛇行復元現場周辺の環境調査を、地域の人々と一緒に行います	初夏、秋	17
	ホームページ、ニュースレター等による釧路湿原の情報発信をします(英語・日本語)	随時	18
	世界湿地の日(2月2日)記念し、湿地を訪ねる「冬のエコツアー2012」を開催します	1月下旬～2月上旬	19
釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	クリーンウォークを実施します	4月～11月	20
	特定外来生物「ウチダザリガニ駆除調査」を実施します	4月～10月	21
	温根内木道定点解説を実施します	7月～9月	22
釧路湿原国立公園連絡協議会	温根内ビジターセンターと塘路エコミュージアムセンターで行われるプログラムの情報共有と施設間の連携を図ります	通年	23
	ホームページによる釧路湿原の情報を発信します	通年	24
	「釧路湿原こどもレンジャー」事業を実施します	随時	25
	釧路湿原国立公園クリーンデーを実施します	随時	26
釧路湿原全国車いすマラソン大会実行委員会	第26回釧路湿原全国車いすマラソン大会を実施します	8月28日	27
釧路湿原MTBクラブ	マウンテンバイクで釧路湿原周辺の廃道や林道での自然探勝ツーリングを行います	通年	28
釧路湿原マラソン実行委員会	釧路湿原マラソンを通じて湿原のすばらしさを参加者の方に伝えます	7月31日	29
(NPO)釧路湿原やちの会	釧路湿原道路の清掃活動を実施します	4月	30
	温根内ビジターセンター駐車場の清掃活動を行います	5月～10月	31
	修学旅行・一般観光客(団体・個人)・企業の研修旅行等を受入れます	随時	32
(財)釧路市民文化振興財団(釧路市生涯学習センター)	釧路学教養講座「道東地方の自然と歴史(釧路湿原を訪ねて)」を開催します	8月27日	33
	いきいき女性講座「温根内ミズゴケ湿原へ行こう」を開催します	7月8日	34
	いきいき女性講座「キラコタン岬から釧路湿原を眺めてみよう」を開催します	6月24日	35
	まなぼつと子ども探検隊「森林と動物を調べる2011」を開催します	9月17日	36
	湿原ほたる講座「釧路湿原の夜の隠れた風物詩を探ろう」を開催します	7月下旬	37

団体・個人名	取組み概要		No
釧路短期大学	湿原をとりまく地域食材を使用した、学生考案の「咲くさクッキー」を釧路全日空ホテルと連携して販売し、湿原自然再生に還元します(諸活動と収益の一部寄附)	通年	38
釧路ボタニカルアートの会	地元の植物やその周辺の環境を観察し学び、希少な植物の姿を細密画として描き、作品を環境保護活動に役立てます	随時	39
国土交通省北海道開発局釧路開発建設部	「くしろ環境スクール」終了生による「釧路自然再生解説員」活動と学習会を行います	4月下旬～9月	40
	「釧路湿原川レンジャー」を募集し活動を行います	通年	41
こどもエコクラブくしろ	釧路湿原におけるマルハナバチの観察調査を実施します	5月中～10月中旬	42
沢田建設株式会社	釧路湿原近郊でゴミ拾いを行います	6,7月・10,11月	43
	ウチダザリガニ防除活動を行います	9月頃	44
さとぼん	ホームページによる釧路湿原の魅力や歩き方に関する情報を発信します	通年	45
市立釧路図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター	釧路湿原に関する情報提供及び展示を通じた湿原の紹介	通年	46
太平洋総合コンサルタント株式会社	標茶高校における体験型の環境教育の実施	9～10月	47
タクババ(ペンネーム)	道東の自然や地名をアイヌ語で紹介します	通年	48
★ タンチョウコミュニティ	タンチョウのえさづくりプロジェクトの実施	5,9,1,2月	49
	酪農地域の生き物調査	7～9月	50
(NPO)タンチョウ保護研究グループ	タンチョウの保護、研究に関する教育普及活動、講演会を行います	1月、随時	51
★ 辻野 正	ペーパークラフトで釧路湿原などの生き物を紹介します	随時	52
奈良 笹本由文	鶴居村私有林の自然林育成	随時	53
(株)日専連釧路	「日専連釧路フィッシャーマンズカード」利用額の一部を釧路湿原国立公園連絡協議会に寄付します	通年	54
(公財)日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ	施設来訪者へのタンチョウの解説	10月～3月	55
	学生ボランティアネットワーク組織「F.A.ネットワーク」主催のワークキャンプの受け入れ	年2回(夏、春)	56
	タンチョウティーチャーズガイド(TTG)講習会の開催	12月	57
	ボランティア・ツアー「グリーンホリデーin釧路～タンチョウの食事場所を整えよう～」の開催	9月23～25日	58
★ ハートンツリー	料理と共に自然と共にある風景や暮らしを感じてもらいたいと思っています。	通年	59
北海道阿寒高等学校	「地域巡検」を実施し、湿原や釧路の自然の大切さを体験させています	8月下旬～9月	60
北海道標茶高等学校 釧路湿原再生プロジェクト	高校生による自然環境の調査、研究	通年	61
林野庁北海道森林管理局釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター	「森林アクティビティ講座」の実施	随時	62
	「雷別ドングリ倶楽部」の実施	通年	63
	「お庭で苗木育成」の実施	通年	64
Rainbow Angel (ペンネーム)	釧路湿原の魅力を投稿発信をします	通年	65
リンク・リング	野生生物へのエサやりの是非の説明をして、人と動物・自然のかかわりについて考える機会を持ってもらう	随時	66

41 団体・個人／66取組み

釧路湿原自然再生協議会	釧路湿原自然再生協議会や各委員会の情報を発信します(会議公開、HP、ニュースレター発行)	活動中	1
	学習会や講演会などを行います	活動中	2
	パネル展などを実施します	活動中	3
	視察・研修などを受入れます	活動中	4
	自然再生に関わる資料を発刊します	活動中	5

42団体・個人／71 取組み(協議会含む)

2011年度再生普及行動計画WGの予定

以下、「◎」はWGメンバーと事務局で実施するもの、「□」は事務局が行うもの、「★」は2011年度の新たな取組みを示します。

1 WGの開催と行動計画の進行管理、活動支援

行動計画の進行管理と参加の拡大に向けた取組みを行う

- ◎ WGによるディスカッション：2回程度開催(4月26日、11月頃)
- ワンダグリンダ・プロジェクト2011の進捗把握、活動支援
- ワンダグリンダ・プロジェクト2010の活動報告書作成
- ★ワンダグリンダ登録証の発行(参加者意識の向上/応募の魅力のひとつとして)
- ★ワンダグリンダサポーター登録証の発行(サポーター向けのサービスのひとつとして)
- ★ワンダグリンダ・プロジェクト参加者へのカヌーツアー招待(特典として1組)

2 情報発信・普及活動の拡充

第2期行動計画の重点分野「釧路湿原を知る・楽しむ・学ぶ」を推進する

2-1事務局による情報発信・普及活動

- 再生普及行動計画通信HPの運営
- メールニュースの配信・一部掲示(月2回程度)
- ◎ 知名度アンケートの実施
- ★行動計画概要英語版パンフの作成
- ◎ FMくしろ「ゆうゆう湿原塾」への出演
- ◎(市町村) 市町村広報誌への情報提供、記事掲載
- ◎ ★対象別情報発信機会・手法の整理(□)、展開(◎)
→詳細は資料6を参照
- ◎ ★WGメンバーによる情報発信(活動をとおして、イベント、各種コーディネート等)
- ◎ メディアへの発信、参加の働きかけ

2-2「自然再生の今」を伝える情報発信

- ◎(森林再生小委) 森林再生(雷別・達古武)ブログ(月3回程度)
- ★他の4つの小委員会・実施計画に関する情報発信の検討

3 ★自然再生の参加の機会づくり

第2期行動計画の重点分野「自然再生に参加する・行動する」を推進する。

- ◎★実施計画ごとの参加の機会づくりに関する検討(関係機関に参加機会の情報提供、場作りを働きかける)
- ◎ ★自然再生現場の見学会 (地元市民を対象とした自然再生現場の見学会の実施)

4 フィールドWSの開催

ワンダグリンダ参加者、関係者の湿原観を広げ、それぞれの活動を充実させていく目的で、独自の湿原体験の機会を提供し、ワンダグリンダへの参加の魅力のひとつとする。あわせて参加者同士の対話や横の繋がりを広げる機会とする。

- ◎ ワンダグリンダ参加者等を対象に2回程度開催(7月キラコタン岬周辺、1～2月頃コッタロ周辺を予定)

第20回再生普及行動計画WGでの議論の結果概要 情報発信(広報)の機会拡充についての検討

【経緯】

自然再生事業に関しては、事業開始時に比べて報道が減少していることなどから、地元の関心度もやや薄らいでいることが予想され、改めて「自然再生の今」を発信し、関心喚起や参加の動機づけに向けて情報発信を強化することが重要であると思われます。

前回WG(第19回:2010年11月開催)では「既存のイベント等の場を釧路湿原への関心喚起や情報発信にもっと活用できないか?」という意見がだされ、前回の再生普及小委員会(第16回:2010年11月)では「誰に向けてどういうタイミングで情報発信をするのか?」対象別に練りなおす必要があるとの意見がありました。

これらの結果を受けて、第20回行動計画WGでは、「活用が期待される既存の機会(場)等」を元に、その機会それぞれへのアプローチやアイデア方法をだし、効果的な広報のアクションプランを具体的に検討しました。

【検討方法】

○事前にWGメンバーに提出してもらった「既存の機会(イベント、場など)」を対象者の属性から「関心度(関心⇔無関心)と居住地(地元⇔地元外)」の表にて分類。



○具体的な活用方法を(「なに」を「どのように」伝えるかを)各グループで議論し、可能性を検討。

【検討結果】

主な意見は以下のとおり(別紙の全てのアイデア取りまとめ)

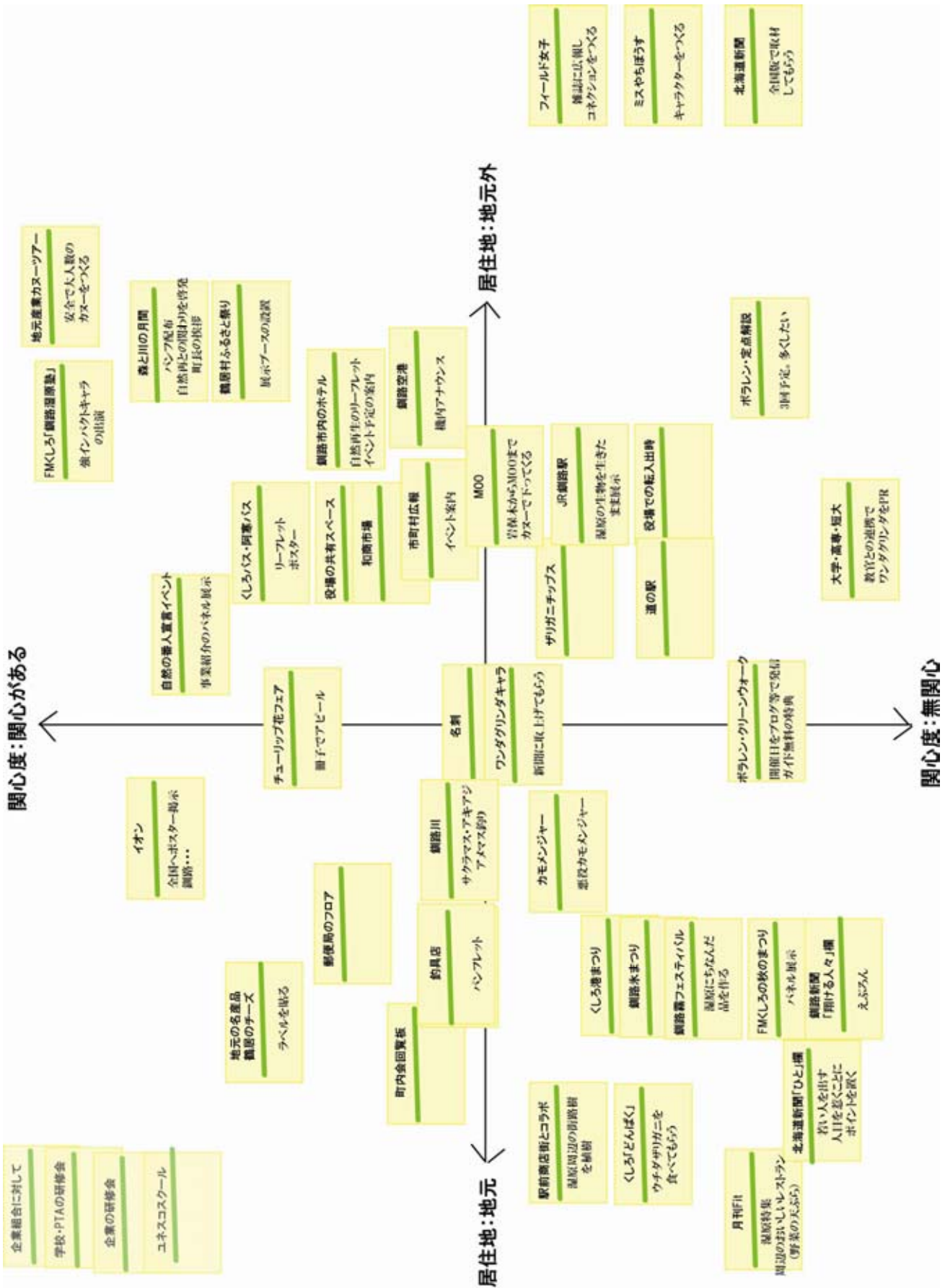
- 郵便局のフロアでパネル展示
- 湿原に関わる技術を持つお年寄りに地元祭りで活躍
- 町内会の回覧板を利用
- ホテルでのイベントやツアー案内
- ザリガニチップスのPR
- 道の駅でのパネル展示他
- 標茶「森と川の月間」でPR
- 「フィールド女子」などのネーミングで雑誌にPR
- 「ミスやちぼうず」の募集
- 全国のイオンでポスター展示
- 鶴居村名産「タンチョウの卵」を一工夫
- FMくしろ湿原塾に強インパクト出演者
- 役場の共有スペースを活用
- 「鶴居村ふるさと祭り」に出展
- 名刺に貼るワンダグリンダのシール作成
- VRの会クリーンウォークへの一般参加
- 市内の大学・高専などと連携
- 「トレイン&カヌー」
- 釧路空港での湿原アナウンス・PR
- 「どんぱく祭り」でウチダザリガニ試食
- Fitと釧路新聞の活用
- カモメンジャーとのコラボ
- 釣具店でのパンフレット配布
- 北大通に植樹

【今後について】

出た意見の中から、すぐに実行できるもの、効果が高いものを検討し、順次実施していく。

(今年度、実施を検討している取組)

- パネル展の巡回(上記のアイデアを中心に、できるだけ多くの場所で)
- 鶴居村ふるさと祭りへの出展(パネル展示以外にも湿原に関する技術を持つ人に実演)
- ワンダグリンダを紹介するシール(名刺用)を作成、WGメンバー等に貼ってもらう。



環境教育ワーキンググループの 2010 年度の活動について

1 情報の収集と提供

学校における実践事例の情報を取材し、とりまとめ後、ホームページ (kushiro-ee.jp) へ掲載した。

表 1. HP に掲載した実践事例

学校名	実施時間	学年	実施年度	備考
釧路市立青葉小学校	総合	3～4 学年	H20～21	3 学年時より 2 年間の学習として実施
釧路市立鶴野小学校	総合	4 学年	H22	湿原に隣接しており、例年実施。
釧路町立富原小学校	道徳	6 学年	H22	道徳全道研究会の機会に実施。

2 教員研修の実施

釧路教育研究センターと連携し、釧路湿原に対する新たな視点・気づきを教員と共有し、湿原の教育的な価値を捉えなおすことを目的とする教員研修を実施した。

(第 1 回) 平成 22 年 7 月 1 日 (木)

・自然再生事業現場の見学 (久著呂地区) 他

(第 2 回) 平成 22 年 9 月 9 日 (木)

・自然再生事業現場における調査体験 (達古武地区) 他

3 湿原を題材とした学習と教科学習との関連性の整理

(1) これまでの経緯

平成 23 年度から小学校において、平成 24 年度から中学校において本格施行される新学習指導要領では、総合的な学習の時間が大幅に縮小するなど、総合的な学習の時間における湿原学習の実施はより難しい状況となってきている。

これらの状況を鑑み、第 6 回環境教育ワーキンググループにおいて、今後の活動方針として、教科内における湿原を題材とする学習の価値を検討し、展開の可能性を探ることとした。

(2) 教科単元における学習の位置づけ

釧路湿原は地域社会、産業、生物などと多様な関係性を有していることから、教科単元において、きっかけづくりや発展学習の素材としての可能性を有していると考えられる。

また、総合的な学習の時間で扱う湿原学習と比して教科学習においては主題として湿原を扱うことが難しい反面、湿原に関係した情報に触れる機会を学校教育の中で増やしていくことで、児童や教員の釧路湿原に対する関心を喚起することにつながるものと考えられる。

(3) 教育現場からの意見収集

教育現場における活用を前提としていることから、教育委員会、湿原を題材とする学習の実践校、博物館等の施設へヒアリングを行い、教科学習において学習素材として湿原の活用を促進するにあたっての可能性と課題点について情報収集を行った。

(4) 教科単元における湿原を題材とした切り口の整理

第7回環境教育ワーキンググループにおいて、小学校5,6年生、理科および社会科について、教育現場から収集した意見を踏まえて教科書を閲覧しながらアイデア出しを行った。

5学年理科			
教科書目次	関連アイデア		
春になって	山菜と川		
発芽と成長	ベカンベの繁茂(ヒシ)	環境毎の成長の違い	湿原の植物(ドングリ、クシロハナシノブなど)を育てる。
気温の変化 天気の変化	湿原の気候(霧、低温、小雪)		
新しい生命	サンショウウオ、エゾアカガエルを飼育してみる。湿原に関係のある動植物で。	水槽に入っている藻を湿原の植物でまかなう。	湿原の植物は簡単には取れない→だから勉強になる
	ヤチマナコで生命誕生(宇宙)	サケ、シシャモの卵を育てる	湿原の生物を題材にした生命のしくみ
花から実へ	ヒシなど、地域(湿原)にある植物、花で	湿原にはいろいろな植物の原種がある。実のなるもの、食べられるもの	ツリフネソウ→実の付き方がおもしろい
受けつがれる生命			
台風接近			
流水による土地の変化	釧路川にはダムがない。 ・資料を見せてあげる。 ・パソコン(グーグルマップ等)を使ってリアリティを出す	下流をまっすぐにした結果、理由	釧路川、湿原はごみなどを捨てるような場所だった(社会?)
	過去の水の流れの痕跡	実際の川を見ることで、実験のいみがある。実際の川にはいろいろな植物がある。	水の流れ方の模型などがあると、どこにでも出前授業に行ける。
左右のつりあい			
もののとけ方	いろんな物を水はとかせることを知る→湿原の水は茶色。どうしてこんな色になっているの?	上流域から下流域の水の色を比べてみる→何で違う野か?	
おもりの動きとはたらき	湿原の傾き(上流～下流)	アイヌの人の思い(自然を使った)	

6学年理科			
教科書目次	関連アイデア		
生き物のすむ星地球	湿原の占める面積		
生きていくための体の仕組み	湿原の恵みの水		
ものの燃え方と空気	石炭、泥炭	気球をあげて空からセルフタイマーで写真を撮る(社会?)	
日光と植物	空気をつくる湿原	どのくらい湿原は空気をつくっているのか。	
水よう液の性質	湿原の水(色や性質)	湧水も	
生き物どうしのかかわり	食物連鎖(タンチョウ、ワシ等)	外来生物 ・宿泊研修の時にウチダザリガニを取って食べるころまで行う。 ・外来生物はどこから来たの? どうやって広がったの?	生き物どうしの関わり(湿原バージョン)
土地のつくり	地層と湧水(塘路や達古武)	湧水量をはかる	化石堀り
	地層。湿原は西側が高く東側が低い。7千年前までは海だった。成立を見て行くとおもしろい。	火山は湿原から少し遠い場所にある。地層をみるとどこまで火山灰が来ているかわかる。	
変化する大地	湿原の成り立ち	岬という地名。昔はどうだったかわかる。	
電流を生み出す力	水道水と湿原の水の電流の流れ方の違い		
生き物とかんきょう	自然の中の関わり(湿原バージョン)	湿原の浄化作用	キャラクターを考える。

5学年社会			
教科書目次	関連アイデア		
農業のさかんな地域をたずねて	自然(湿原)を生かした農業(上26p)	湿原地帯と農業との共生の可能性	
水産業のさかんな地域をたずねて	森→川(≒湿原)→海 p48		
これからの食料生産			
自動車工場をたずねて			
世界とつながる自動車			
工業の今と未来			
天気予報が気になるときは?			
情報を伝える人々	ニュース番組のテーマとして”湿原”をとりあげる(下p6)		
情報化社会に生きる	<自然や文化>インターネットを利用して他の地域と自分の地域との関わり(下p35)		
自然を生かしたくらし	湿原資源を生かした私たちの生活		
環境を守る	山→川→海 のつながり 環境を守る	地域の自然環境(湿原)を守ることの意義(社会的)を伝える	
6学年社会			
教科書目次	関連アイデア		
国づくりへの歩み	<歴史>明治開拓期と湿原地帯		
大陸に学んだ国づくり			
武士の政治が始まる			
全国統一の動き			
幕府の政治と人々の成長			
新しい時代の幕あけ			
二つの戦争と人々の暮らし			
平和で豊かな暮らしをみざして			
人々の願いとまちづくり	湿原再生に取り組む人々の話を聞く(ゲストティーチャー、VTR出演)p7	釧路川の様子をビデオ、写真、地図で学ぶ(p12)	
憲法とわたしたちの暮らし			
日本とつながりの深い国々			
世界の人々とともに生きる	地球環境 守る→ラムサール(p50)		

環境教育ワーキンググループの 2011 年度の活動について

1 情報の収集と提供

これまでホームページ（kushiro-ee.jp）に掲載した実践校について、今年度の実践状況についてヒアリングを行い、変更事項等についてホームページに掲載する。

教科学習での活用促進を目的に今年度取りまとめる資料等について、学校への周知を行うほか、掲載に支障がないものについてはホームページに掲載する。

2 湿原を題材とした学習と教科学習との関連性の整理

5・6年生理科、社会科について、学校に提供できる情報として具体的に取りまとめを進めるとともに、他学年・他教科についても湿原との接点等について整理を進める。

3 教員研修の実施

(1) 流水による環境の変化～体感！蛇行河川の復元現場（仮）

茅沼旧川復元事業地をフィールドに、理科の視点から流水による土地の変化（土砂等の堆積状況、植生の変化）をカヌーで川を下りながら体感するとともに、社会科の視点から直線化の理由と再蛇行化の理由、再生の考え方等を学びます。

[日程] 2011年7月24日（日）

[対象・定員] 釧路管内の小学校・中学校教員6名程度

[講師] 新庄 久志 氏（釧路国際ウェットランドセンター主任技術委員）

(2) 体感！釧路湿原～理科と社会の視点から

釧路町達古武・細岡地域をフィールドとして、豊富な湧水など自然の恵みに支えられた先人の生活・文化を学ぶとともに、達古武湖で繁茂しているヒシの生活史、ヒシの繁茂による湖への影響や従来の自然に戻す取組等を学び、理科および社会科の視点から湿原環境を捉えるきっかけづくりを行います。

[日程] 2011年9月1日（木）

[対象・定員] 釧路管内の小学校・中学校・高等学校教員20名程度

[講師]

・坪岡 始 氏（標茶町郷土館 学芸員）

・牛崎 方恵 氏（塘路湖エコミュージアムセンター 指導員）

[共催] 釧路教育研究センター

再生普及小委員会の予定（案）

2010年 11月30日	第16回再生普及小委員会 開催 ・再生普及行動計画WG経過報告について ・環境教育WG経過報告について ・情報発信のあり方について ・再生普及に関する5年目の施策点検について		
2011年 2月15日 4月26日 6月4,5日	「ワンダグリンド・プロジェクト2011」募集開始 第20回再生普及行動計画WG 開催 ・ワンダグリンド・プロジェクト 2010 の報告 ・ワンダグリンド・プロジェクト2011の応募状況 ・2011年度の予定について ・情報発信の拡充にむけて 「くしろエコ・フェア2010」で報告書 お披露目（配布開始）・ブース出展	1月25日	第7回環境教育WG 開催 ・2010年度の活動内容 ・教科単元における湿原を題材とした学習の検討
6月7日	第17回再生普及小委員会 開催 ・再生普及行動計画WG経過報告について ・環境教育WG経過報告について ・再生普及に関する5年目の施策点検について		
6月18,19日 7月下旬	ワンダグリンド・プロジェクト2011公開 子ども遊学館との共催「大好き！釧路湿原！！」イベント実施 フィールドワークショップ開催（1） 知名度調査アンケート 実施 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">その他 ・「ワンダグリンド・プロジェクト2010」進捗状況の把握 ・毎月2回メールニュース 『ワンダグリンド☆ニュース』配信 ・毎月2回ホームページ「再生普及行動計画WG通信」更新 ・パネル展の開催 ・情報発信の充実のための各種取組</div>	随時 7月24日 8月 9月1日	ヒアリングの実施 教員研修（1）in 茅沼旧川復元箇所 第8回環境教育WG 開催 教員研修（2）in 達古武地域
11月	第21回再生普及行動計画WG 開催		
12月	第18回再生普及小委員会 開催		